

学校だより

【第1号】令和5年4月24日発行

＜群馬県立しろがね特別支援学校通信＞



やさしさと笑顔のあふれる、ホッとできる学校に

群馬県立しろがね特別支援学校 校長 清田 和泉

今年度も校長としてお世話になります、清田和泉（きよたいずみ）と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度は中学部に2名、高等部に29名の新生を迎えました。全校児童生徒数89名という大所帯になり、図書室を教室に転用するなどの大がかりな校内整備をしての新学期でしたが、どの学級も穏やかに学校生活をスタートすることができました。御家庭、学園の皆様のおかげと感謝申し上げます。

今年度も本校では、毎週水曜日の朝、生徒会役員による「あいさつ運動」が行われています。

「おはようございます」という元気のよいあいさつが飛び交う玄関前の広場は活気にあふれ、自然と皆の顔に笑みがこぼれます。とても素敵なさわやかな時間です。

そして、そんなしろがね特別支援学校を更に魅力的な学校にしようと、1学期の始業式で、私から児童生徒の皆さんに、「友情」「笑顔」「元気」「あいさつ」「チャレンジ」の5つのパワーを差し上げ、手話に由来したポーズも全員で共有しました。

これは、しろがね特別支援学校の児童生徒全員が助け合える仲間同士となり、毎日を笑顔で元気よく過ごしてほしい、将来の自立や社会参加に向けて、あいさつや返事がしっかりでき、少しいへんなことでも挑戦しようとする気持ちがもてるようになってほしいという願いを込めたものです。

本校では、児童生徒一人一人の個性・能力を調和的に高めていくことを目指していますが、その基盤は、学校が「やさしさと笑顔のあふれる、ホッとできる」場所であることです。本校に関わるすべての皆様と共に、そんな学校をつくっていきたいと思います。今年度も本校の教育活動への御理解、御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



～入学おめでとうございます～

令和5年度の入学式が、4月10日月曜日に、体育館において行われました。

今年度の新入学生は、中学部2名、高等部29名です。

新しい学部や新しい学校で不安もある中ではありましたが、入学式で自分の名前を呼ばれると、皆それぞれのやり方で返事をして立ち上がり、嬉しそうな笑顔を浮かべていました。

また、高等部代表の生徒が「誓いの言葉」をしっかりと述べ、とても頼もしく思われました。ようこそ「しろがね」へ。



（新入生 誓いの言葉）



（PTA代表 祝辞）